

平成27年度行政評価 施策評価シート（平成26年度実績）

施策名 健康づくり支援の充実

施策コード 030501

1. 施策の担当	
主管課	健康福祉部 保健センター
関係課	高齢介護課、国保年金課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第3章 やさしさとふれあいのあるまちづくり（安心・健康）	節 第5節 健康・医療
	施策	健康づくり支援の充実	

基本方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健指導等の実施により、地域の自主的な健康づくり活動の育成支援をし、健康づくりの充実を進め、生活習慣病の予防及び介護予防を図ります。</li> </ul>	

現況と課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病予防対策としての健康診査受診率及び保健指導率が低く、生活習慣病の早期発見及び予防のための行動に結びついていない状況があり、健康診査などの受診率向上が必要です。</li> <li>健康づくりに関する地域における組織活動が全市域に拡大していない状況であり、啓発活動が必要です。</li> </ul>	

施策目標	
対象（誰を、何を、どこを）	
市民	

意図（どのような状態にしたいのか）	
健康長寿をのばし、生活の質の向上を図ります。誰もが安心して充実した毎日を送ることができるよう、保健・医療・福祉施策の充実を図ります。	

3. 市民ニーズ							
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
満足度（偏差値）			60.5				
重要度（偏差値）			50.6				

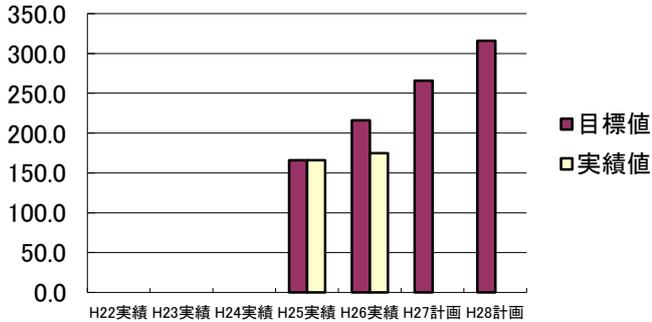
4. 施策にかかるコスト								
		単位	H25決算	H26決算				
コストの内訳	人件費	千円	21,081	22,618				
	事業費		26,226	27,872				
	フルコスト		47,307	50,490				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		942	859				
	市債							
	その他		12	15				
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		46,353	49,616				
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		25,272	26,998				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		健康相談への年間参加者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値				166.0	216.0	266.0	316.0
実績値				166.0	175.0		
達成度				100.0	81.01		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
健康相談事業は、市民の健康状態を血圧測定や問診等によりチェックし、健康的な日常生活を過ごせるよう、専門職が適切な助言を行う事業である。この指標により市民の疾病予防に対する関心度がわかる。		H25年度より指標として追加。H25年度の数値を基準として目標値を設定する。保健センターにおける定例の相談窓口とがん検診実施日に併設している相談窓口が主な機会となる。がん検診については実施日の増減があり得るため、それによってこの数値は影響を受けるが、年間で概ね50件ずつ増加させていくことを目標とする。		市民の健康に対する関心が高まってきていて、各種検診受診を利用した相談や、検診結果が思わしくなかったときの相談が増えた。保健センターからも積極的にアプローチを実施。			
② 成果指標 2		健康教室等へ年間参加者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	1,110.0	1,630.0	1,660.0	1,690.0	1,720.0	1,750.0	1,780.0
実績値	1,591.0	1,238.0	1,373.0	1,776.0	1,968.0		
達成度	143.33	75.95	82.71	105.08	114.41		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
生活習慣病の予防の推進を図るための知識の普及・啓発に関わる健康教室等への参加者数の増加により、生活習慣病予防に対する意識向上の進捗状況がわかる。		H21年度の追加指標。H21年度実績をベースに毎年30人ずつの増加を目標に設定。H22年度の実績が目標値の110%を上回ったため以後の年度についてH22年度をベースに毎年30人ずつの増加を目標とした目標値へと見直しを行った。H25年度は特別事業を実施した結果であり、毎年実施されるか否かは不透明であり、目標値は変更するものではない。		背景は、健康に対する関心の高まりであり、仲間同士で参加する人が増加。参加したことで健康に対する意識の深まった人がさらに仲間を誘って参加するという好循環があったと思われる。また、できるだけ、関心の高いと思われるメニューを準備したことも影響したのではないかと考える。			
③ 成果指標 3		運動に関する健康教室への年間参加者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	448.0	460.0	470.0	480.0	700.0	750.0	800.0
実績値	448.0	439.0	408.0	693.0	733.0		
達成度	100.0	95.43	86.8	144.37	104.71		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
運動に関する健康教室等への参加者数の増加により、運動による生活習慣病予防に対する意識向上の進捗状況がわかるため。		平成25年度はPRを拡大したことによって参加者が目標値より増加。そのことにより26年度の目標を700人とし、毎年50人ずつ増加させ、最終目標を900人とする。		健康相談や保健指導において、運動の重要性について丁寧に助言指導している。また、教室参加を、運動を継続する契機としている市民が増えてきた結果であると考え。			
④ 成果指標 4		栄養に関する健康教室への年間参加者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	85.0	95.0	105.0	115.0	125.0	135.0	145.0
実績値	85.0	93.0	89.0	51.0	80.0		
達成度	100.0	97.89	84.76	44.34	64.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
栄養に関する健康教室等への参加者数の増加により、栄養改善による生活習慣病予防に対する意識向上の進捗状況がわかるため。		22年度の追加指標。22年度実績をベースに毎年10人ずつの増加を目標に設定。		健康相談や保健指導において、食生活の重要性について丁寧に助言指導し、教室への参加を積極的に案内している。健康的な食生活は、運動とともに、生活習慣病予防には欠かせることができない活動であり、教室プログラムも多くの市民に参加してもらえるような関心の高いものとするよう工夫している。			

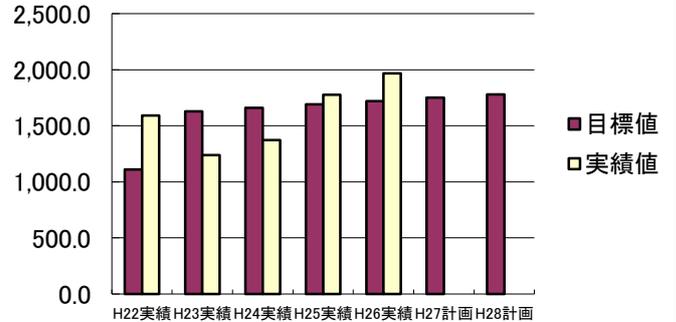
⑤ 成果指標 5		健康マイレージの参加者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値					180.0	230.0	280.0
実績値					180.0		
達成度					100.0		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
健（検）診受診することで自身の健康状態を把握するだけではなく、日常生活における健康活動に対しても熱心に取り組んでいる市民の人数がわかる。	H26年度からの追加指標。26年度実績を基に年間50人ずつの増加を設定。	健康マイレージ事業は、特定健康診査検（健）診受診を必須項目として、食育や運動に関する健康活動目標を実行した市民に対しポイントを付与し記念品と交換する事業であるが、対象者に占める記念品交換者の割合は低い。理由としては、事業のPRが不十分であること、記念品交換の方法が不便（平日の市役所及び保健センター開庁時間帯に来庁（所）しなければならない）であること、記念品に対する関心が低いことなどが考えられ得る。

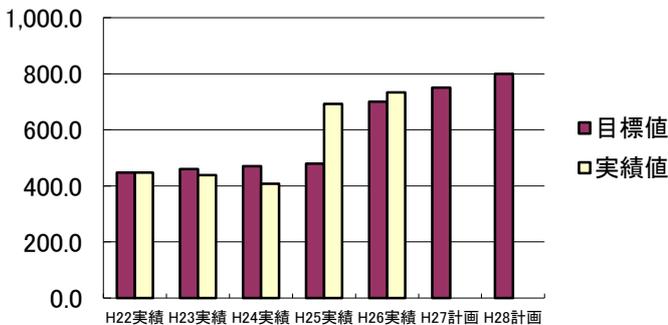
成果指標①



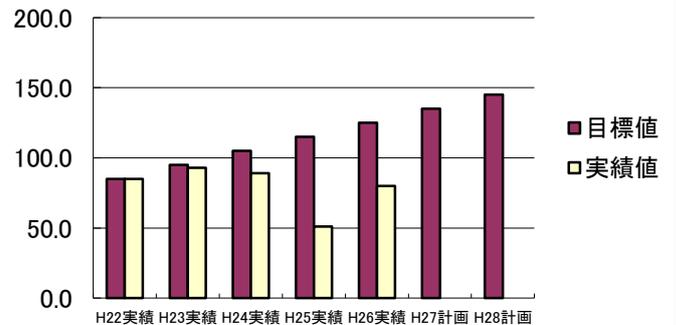
成果指標②



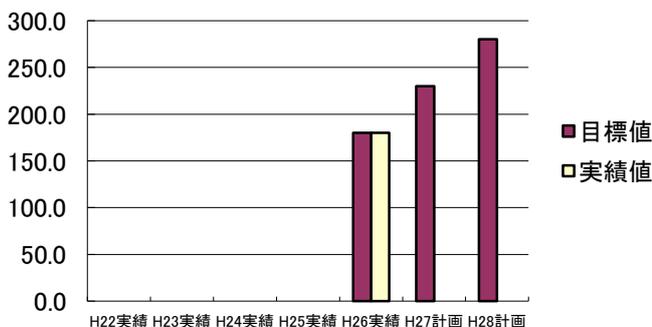
成果指標③



成果指標④



成果指標⑤



図表

6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>3</b>	対象者・実施方法が異なるため、周辺市との比較は困難。H26年度は教室回数増や関心の高い教室企画に努めた。生活習慣病予防にかかる教室への特定健診世代(40歳~65歳未満)の参加者数を伸ばすことが今後の課題となっている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>3</b>	健康教室等の内容を毎日の生活に取り入れていきたいという声が聞かれ、市民の生活習慣病予防や介護予防に対する意識の高揚が少しずつ進んでいると考えられる。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>2</b>	平成20年度の医療制度改革により、老人保健法が廃止になり、健康増進法と高齢者の医療の確保に関する法律に基いたものとなり、健診受診後のフォローの充実の重要性が示された。また、近年は、様々な媒体等が健康について情報発信するようになり、健康活動や疾病の予防や早期治療に対する関心が高まりつつある。
	合計点	(10点中) <b>8点</b>	
	総合評価	<b>B</b>	健康ブームも追い風となり、市民の意識が高まってきていることが、施策の成果を上げることに結びついている。しかし、検(健)診の受診率に直結していないところが問題ではある。今後は、市民に対して、総合的な健康づくりへの取組をサポートしていくことと、無関心である市民への働きかけが課題となる。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)		<b>B</b>	引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価(理事者による評価)		<b>B</b>	引き続き目標値の達成に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			H26年度決算額			H27年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01026700	健康づくり事業	3,515	9,355	9,099	8,536	B
2	01027000	公衆衛生対策事業	78	1,126	1,126	1,126	B
3	01028100	健康増進健康指導事業	16,789	945	342	1,197	B
4	01028300	保健センター施設管理事業	940	10,994	10,979	9,452	A
5	01081740	健康マイレージ事業	783	326	326	575	A
6	02050290	健康増進事業	513	5,126	5,126	5,428	B
合計			22,618	27,872	26,998	26,314	